

# 乙 頁

第142号 通巻25巻 第3号

2005年9月1日 発行

守山市立埋蔵文化財センター

Tel・Fax 077-585-4397

〒 524-0212

守山市服部町2250番地

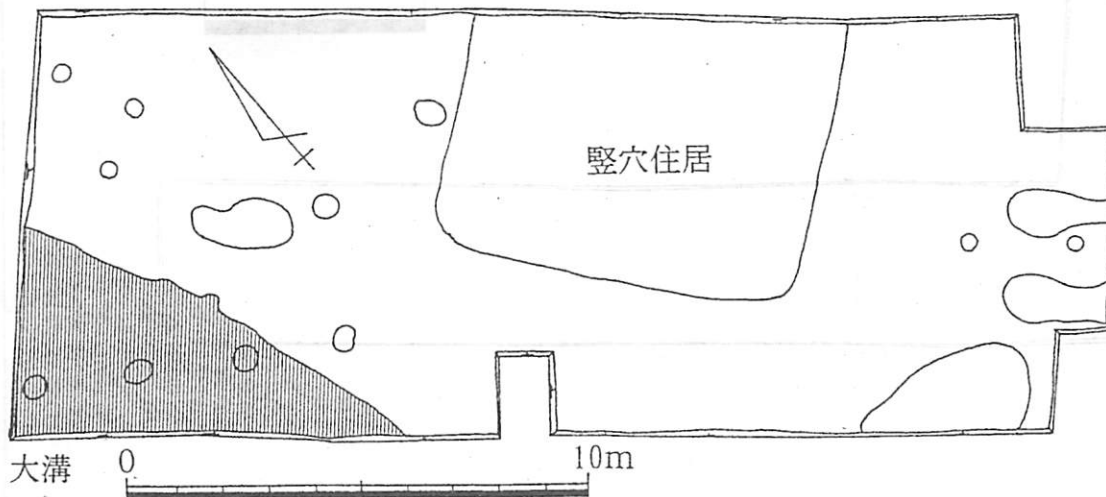
## 発掘調査だより

### 1. 伊勢遺跡の調査

阿村町字下大洲において、宅地造成に先立ち8月下旬から確認調査を開始しました。昨年11月、伊勢遺跡の東側を区画する大溝が発見された地点の隣地にあたります。今回の調査では、その大溝の延長部分が検出されるものと推測されていました。

現在、調査対象地の東側半分について平面検出を行っています。その結果、大溝の一部と竪穴住居、柱穴等が検出されました。大溝は幅4m以上あり、南北方向にのびています。昨年の調査で、逆台形の断面形に掘られていることがわかっています。弥生後期末に埋没しており、伊勢遺跡の衰退期に一致することから、伊勢遺跡の東北部を区画する大溝と考えられます。この溝は南から北へ向かって円弧を描くように伸びています。大洲地区では4棟の棟持柱付き大型建物が円周上に並んで検出されていますが、建物群の外側に同心円状に伸びる区画溝があったことが推測されます。

大溝の東側では一辺8mを測る竪穴住居が検出されました。溝とは異なる方位をもち、出土遺物から弥生後期末から古墳時代初頭の竪穴住居と推測されます。その他、中世の柱穴が検出されており、掘立柱建物があったとみられます。(伴野)



▲ 伊勢遺跡平面図

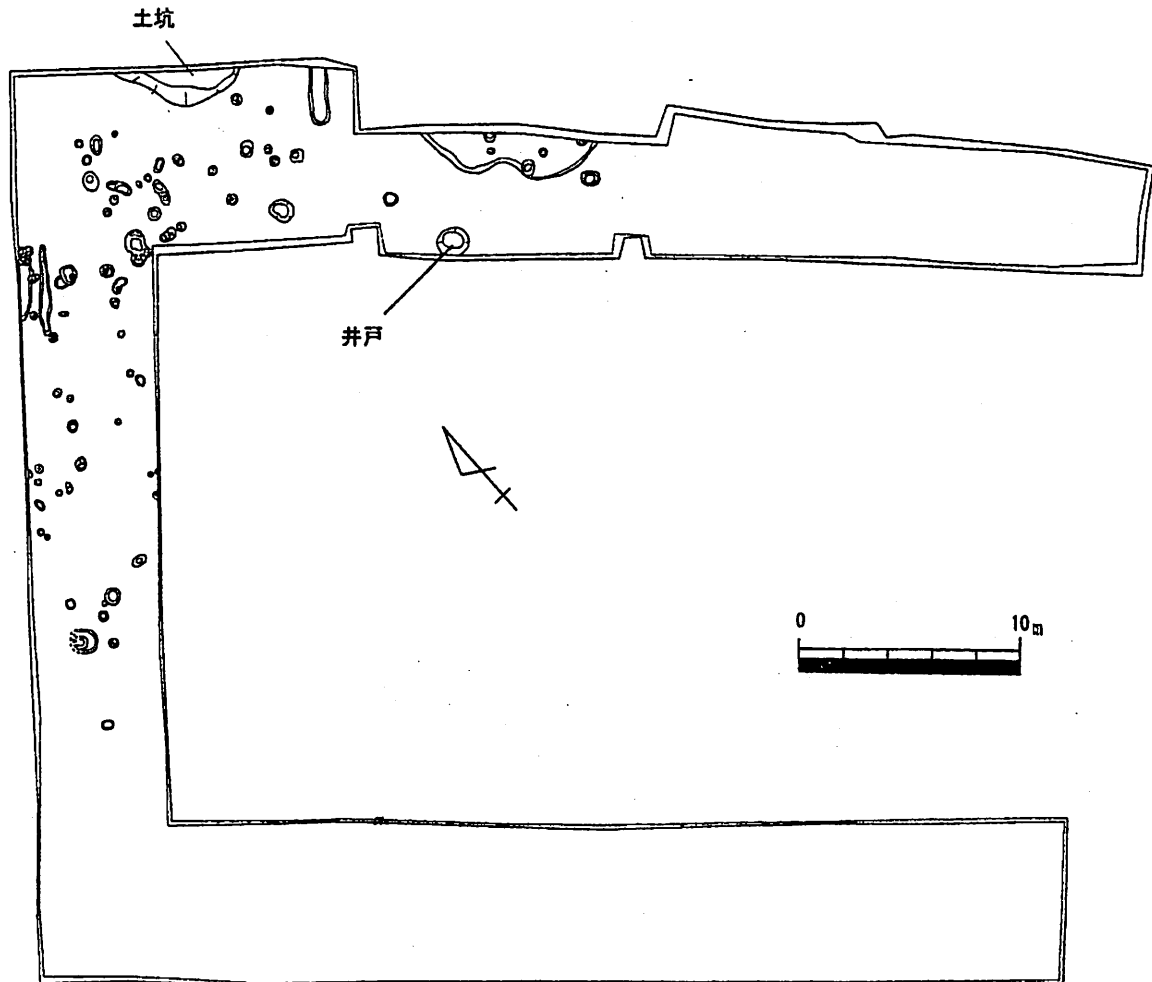
## 2 小御門遺跡の調査(第2次調査)

宅地造成工事に先立ち、小島町地先で5月末から実施していた小御門遺跡の調査も7月で終了しました。調査の結果、調査区北側に集中して井戸や土坑、溝、柱穴が検出され、これらの遺構から古墳時代の須恵器や土師器などが出土しました。

井戸の底からは須恵器の提瓶まげべが3個体まとまって出土しており、廃棄の際に何らかの祭祀が行われたことが推測されます。柱穴は残りが悪いのですが、中には礎板そばんや柱根が残っているものも見られ、この場所に掘立柱建物があったことが推測されます。

今回の調査では、韓式系土器かんしきけいどまや初期須恵器しよきすえきなどが出土しています。韓式系土器は表面に格子状のタタキ目が残る特徴があり、朝鮮半島との係わりを示す土器です。

小御門遺跡に隣接する小島町の阿比留遺跡あびるでも韓式系土器が出土しており、古墳時代中期から後期にかけて、この地域に朝鮮半島系の人々が住まいしていたことが推測されます。(大岡)

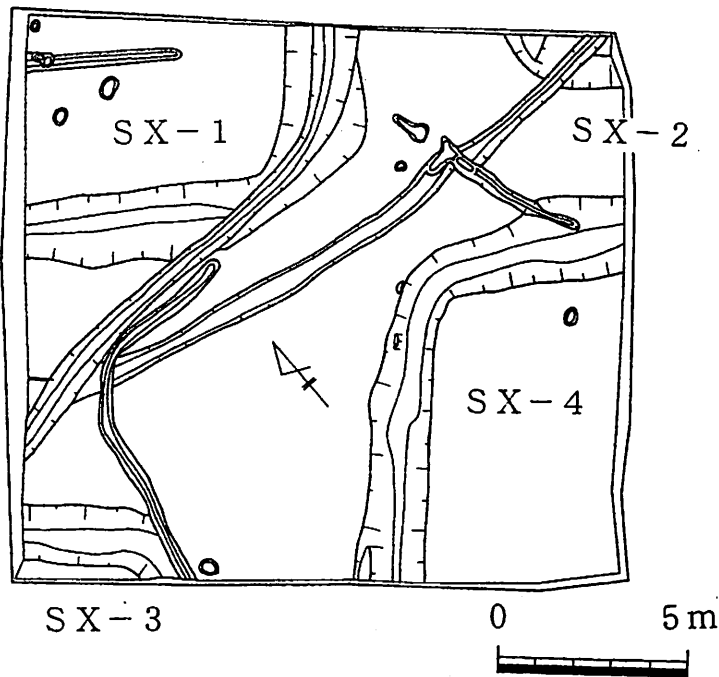


▲ 小御門遺跡調査平面図

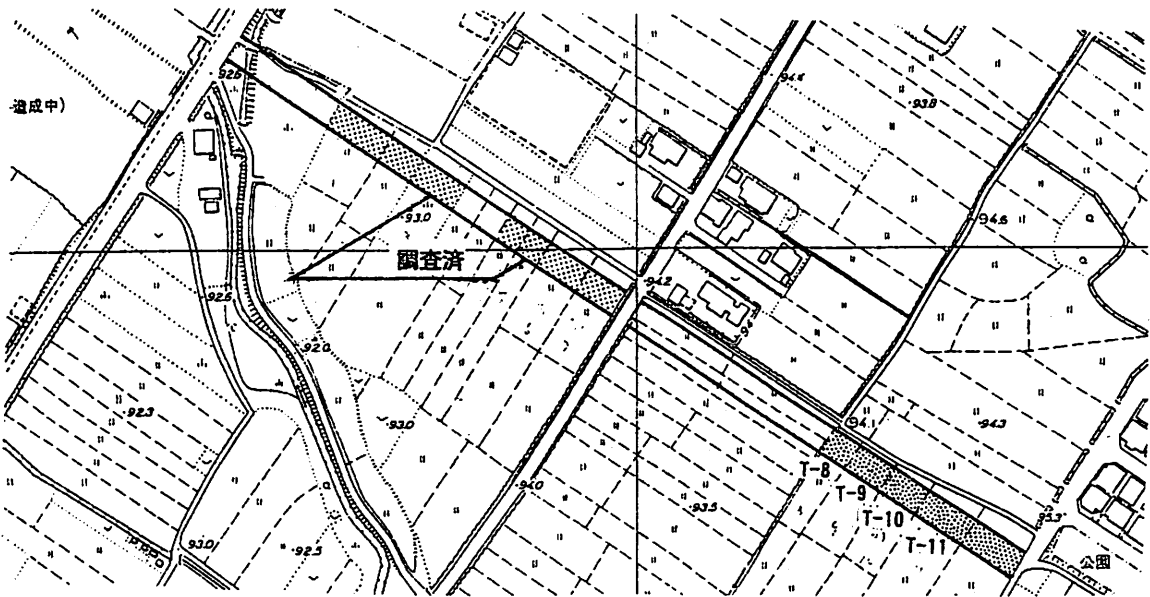
### 3 金森東遺跡の調査(36次調査)

前号の乙貞では北西側の調査済箇所について報告しましたが、その後南東側 (T-8~T-11) で発掘調査を実施しています。T-8 では溝や柱穴が検出されましたが、T-9 から T-10 にかけて4基の方形周溝墓 (SX-1~2) が見つかりました。

方形周溝墓の規模は不明ですが、溝幅は1.5~2.2mほどで、台状部は一辺8m以上あると推測されます。溝底や埋土から甕や鉢が出土しており、弥生時代後期の墓群がこの一帯にひろがっているとみられます。T-11 では方形周溝墓を切って旧河道が検出されました。弥生後期から古墳時代初頭の方形周溝墓は、山柿団地や金森町土地区画整理事業地内でも数基単位で見つっていますが、小規模な墓群が散在していた様子が窺われます。(畑本)



▲ 方形周溝墓検出状況 (T-10)



▲ 金森東遺跡 (第36次) 調査位置図

#### 4. 二ノ畦・横枕遺跡の調査

守山町地先で、宅地造成工事に先立ち7月4日から7月22日にかけて発掘調査を実施しました。調査地は、弥生時代中期の環濠集落として知られる二ノ畦・横枕遺跡の範囲内にあたります。今年1月に試掘調査を行って遺構が確認された2箇所（A・B地区）を対象に発掘調査を実施しました。

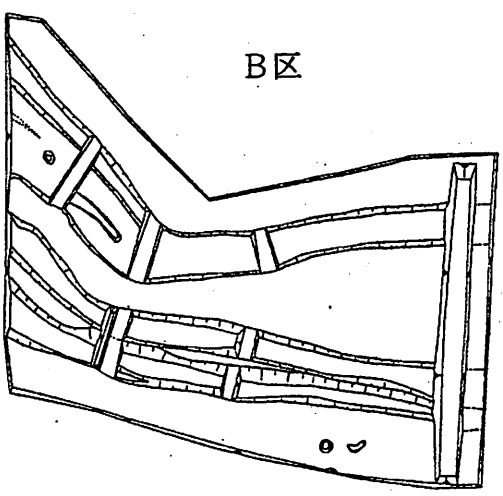
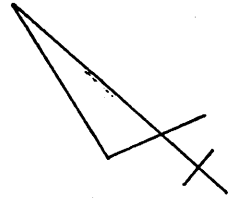
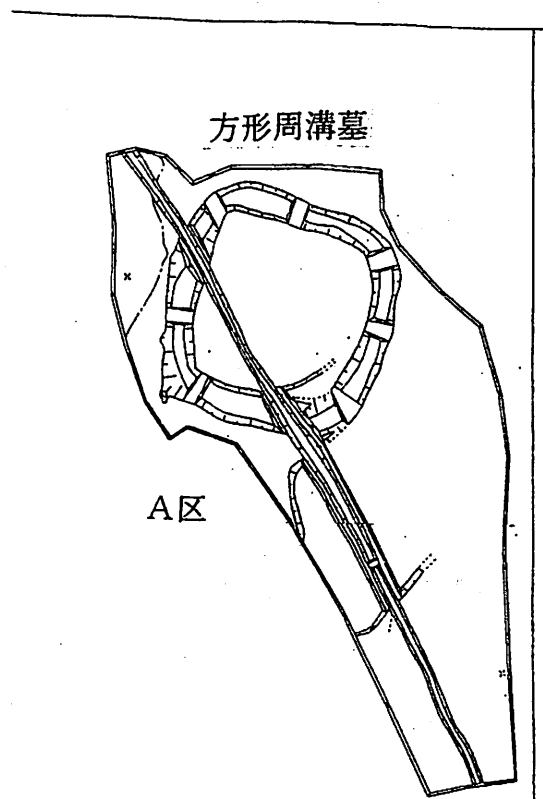
調査の結果、A地区からは古墳時代初頭の方形周溝墓1基と古墳時代後期の溝が検出されました。方形周溝墓は一辺約6mを測り、幅約1.2mほどの溝が巡っていました。溝は南北方向に直線的に伸びており、方形周溝墓を切っています。

B地区からは平行する2条の溝が検出されました。調査区中央で南北方向に屈曲しており、条とも下流側で切り合い関係があり、流れに変化があったことがわかります。出土遺物から古墳時代後期の溝と推測されます。

昨年、今回の調査地の南側隣接地で発掘調査を実施し、二ノ畦・横枕遺跡の環濠が見つかりました。今回の調査では弥生時代の遺構は検出されなかったことから、環濠の外側にあたると考えられます。（川畑）

#### <<<<<お知らせ>>>>>

市立埋蔵文化財センターでは、秋の特別展に合わせてシンポジウムを計画していましたが、今年度は滋賀県との共催事業ということもあり、日程について変更がありましたのでお知らせします。日時については平成18年2月19日（日）13時からとなりました。場所は守山市民ホール集会室で開催します。要綱が決まり次第、お知らせします。



▲ 二ノ畦・横枕遺跡平面図